



ある生徒との出会い

大林 登志美

20年程前、富山聴覚総合支援学校に3年間勤務していたことがある。この間の出来事は、教職を続けていく上での指針となっている。

この学校には、3歳～20歳までの聴覚に障害がある子どもたちが通っていた。障害に対する知識が全くない私であったが、赴任して中学2年生の女の子の担任することになった。彼女は、幼い時にかかった病気の後遺症で聴覚に障害が出た。わずかな聴力が残っていたので、始めは一般の小学校に通っていたが、授業についていけないことやいじめもあって転校し、この学校に通っていた。彼女とはゆっくり話せば、授業も普通の会話も十分可能であった。

彼女との間には、今でも忘れられない出来事がある。夏休みの登校日のこと、どれだけ待っても登校してこない彼女に、何かあったのだろうかと心配しながら、彼女が歩いてくるだろう駅の方を眺めていた。そのうち、彼女は高等部の先輩と楽しそうに話をしながら、部活動が始まる時間帯に現れた。その姿を見た私は、「今、何時か分かるとるが！」と3階の窓から大声で怒鳴った。彼女にどれだけの声で届いているかは分からなかったが、すごい剣幕で怒っていることは感じたらしく、慌てて教室にやってきた。「今日、何の日か分かっているでしょ。」彼女は平然と「聞いていなかった。」と答えた。私は夏休みに入る前、登校日を確認し、彼女も理解していた。都合が悪いことは「聞こえていなかった。」とそれまでにも誤魔化すことがあったので、障害を理由に使うのかと思うととても情けなく、私は、悔しくて仕方がなかった。人間関係が壊れてしまうかもしれないと怖かったが、私は、彼女がついた嘘を許すことができず厳しく叱った。

そんなつまらないことを言わなくていいように障害を受け入れ、生きていく力をつけなければと思い、私にできることは何かを考えた。私はこの日を境に、たくさん会話をし、言葉を伝え、今、世の中で何が起きているのか目を向けさせた。彼女は、不思議と多くのことを吸収していった。3年生になっても毎日たくさん会話をし、彼女からも多くのことを教えてもらった。

勤務校が変わり、それから数年後、彼女から就職が決まったという手紙が届いた。彼女の夢は介護士になることで、その夢が叶ったというのだ。しかし、それまでにはかなり辛い思いをしたことが書かれていた。採用試験を受けに行ったが「あなたは、障害があるので採用することはできない。」と何度も断られたこと、その度に何で自分は障害があるんだと悔し涙を流したこと。「正式ではないが、働く様子を見て採用しましょう。」とようやく内定をもらい、これから頑張っていくという内容であった。その手紙を読みながら、なかなか採用をされなかった彼女の胸の内を考えると苦しくて涙が出てきた。

今年、年賀状が届いた。現在東京に住んでいて、引っ越しの準備をしていたら中学生の頃の写真が出てきて、懐かしくなり葉書を出したのだという。年賀状の裏には昔と変わらない笑顔いっぱいの彼女が、幼い子どもを抱いている写真が印刷されていた。

2月の行事予定

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 3日(月) 生徒会専門委員会 | |
| 6日(木) 市英単語コンテスト | 19日(水) 部停止(～27日(木)) |
| 7日(金) 進級説明会 | 21日(金) 教室床磨き |
| 11日(火) 建国記念の日 | 26日(水) 期末考査(国・数・技家) |
| 県小中高生書初大会 | 27日(木) 期末考査(社・英) |
| 14日(金) 授業参観 | 28日(金) 期末考査(理・音体) |



国語科『パネルディスカッション』より

【住むならここだ！】 (神奈川、北海道、富山、大阪、京都)

- 自分が住む富山県でさえも知らなかった情報が多くあり、どの県も魅力的だと思った。
- 調べてあることが多いことに驚いた。
- いってみたいと思う県がたくさんあった。
- それぞれの県によいところと悪いところがあることが分かったので、自分の生活に合わせていけばよいと思った。交通機関、食べ物、観光地などを「住みやすさ」につなげているところがよかった。
- パネリストの発表以外にも気になることがたくさんあった。立論やパネリスト討論だけでは聞いている人たちを満足させることができないんだと改めて感じた。
- 思っていたよりも質問が出て驚いた。どの県にも数え切れない魅力があるということが分かった。
- データを用いて発表すると信頼性が増して県の魅力が伝わりやすくなると思った。
- 読む練習、発表する練習も大切だと思った。



【東京オリンピックに来る外国人に伝えたい日本の文化】

(マナー、アニメ・漫画、音楽、伝統料理、観光地)

- 自分の知らない日本を知れてよかった。
- パネリストがフロアからの質問に的確に答えているのがよかった。
- 自分たちの提案のよくないところをしっかりと認めているのはよかった。
- 自分たちが集めた情報を質問に合わせて文章にして答えたりするのが難しかったが、おもしろかった。
- 今まで気付くことができなかった日本の魅力について知ることができた。
- 全体討論の時に質問に対応して質問した側が納得できるように言っていたのが素晴らしい。
- 考えて自分の意見を言うことができてよかった。



【海外旅行に行くならここだ！】

(フランス、イタリア、アメリカ西海岸、イギリス、オーストラリア)

- 3回のパネルディスカッションを通して、伝えることの難しさや対応の仕方など、いろいろなことを学ぶことができた。
- 聞いているだけでわくわくして楽しむことができた。
- 海外について何も知らなかったので行きたいと思ったことはなかったけれどいいところがたくさんあり行ってみたいと思った。
- 伝えたいことがなかなか言葉にできず苦戦したところがたくさんあった。
- どの国も日本に比べ治安がよくないことが印象に残った。
- 外国へ行くと英語はたいてい通用することが分かったので、英語をこれからしっかりと勉強して言いたい。

